

災害支援におけるソーシャルワーカーの役割 —東日本大震災復興支援プロジェクトの取り組みから—

○ 関西福祉科学大学 氏名 野村 恭代 (6252)

成清 敦子 (関西福祉科学大学・3384)、遠藤 洋二 (関西福祉科学大学・7244)

キーワード：災害支援、ソーシャルワーカー、東日本大震災

1. 研究目的

本研究は、災害支援におけるソーシャルワーカーの役割を明らかにすることを目的としている。東日本大震災では、震災直後から現在に至るまで、被災者、なかでも「災害弱者」と呼ばれる高齢者、障害者、児童などが生活再建に向けた幅広い支援を必要としていることが明らかにされている。そのようななか、その人にあった暮らしを当事者の目線で実現していくことを目指すソーシャルワーカーの専門性は、災害弱者をはじめとする被災者への支援、とりわけ生活再建において重要な意味を持つことが想定される。

このような観点から、本研究では、災害時においてソーシャルワーカーに「何ができるのか」「何をすべきなのか」をあらためて整理し、被災者（被災地）の「日常を取り戻す」ための支援の必要性とそのためソーシャルワーカーが担う役割を検証するとともに、災害支援ソーシャルワークのプログラムを構築することをねらいとしている。従来、被災者への支援活動においては、“心のケア”に代表されるような被災者の心理・精神的なサポートの必要性に関心が寄せられてきた。一方で、日常的な生活支援を行うソーシャルワーカーの取り組みは広く認識されることなく、ソーシャルワーク研究における課題となっている。この現状をふまえ、災害時におけるソーシャルワーカーの役割、機能を明らかにし、災害支援のための一定のガイドラインを見出していくところに本研究の特色がある。

2. 研究の視点および方法

兵庫県、宮城県、岩手県等の社会福祉施設・機関のソーシャルワーカーに対し、半構造的インタビューを中心に災害支援ソーシャルワークに関する聞き取り調査を実施する。本研究においては、方法論的妥当性に配慮するため、インタビューはすべて調査対象の許可を得た上で録音、または録画によって記録し、すべて文字データとして再構成する。

さらに、収集したインタビューデータを分析し、各施設における災害支援の取り組み実態と災害支援ソーシャルワークを実施するための条件、トレーニング手法などについて理論化を試みる。

3. 倫理的配慮

各施設に対し、調査の趣旨および概要、プライバシー保護に関する説明を書面にて行っ

た。また、施設の事情等により答えられない事柄に関しては拒否権があることを明確に示した。なお、調査結果の公表については事前に了承を得ている。

4. 研究結果

2011年、福祉系大学経営者協議会主催の東日本大震災復興支援プロジェクト事業により、学生・教員で構成されるチームが被災地を訪問し、現地で活動するソーシャルワーカーにインタビューを行う「ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト」およびそこで集約された情報を学生が自ら発信する「学生“語り部”プロジェクト」の2つが実施された。

その結果、被災地のソーシャルワーカーは、災害発生直後からその専門性に基づき多岐にわたる活動を展開していることが明らかになった。また、被災地では、特に「災害弱者」の立場にある人々が生活を再建するための支援を必要としている実情が明らかになった。さらに、プロジェクトに参加した学生の教育的効果も示された。

これらの成果を踏まえ、2012年7月～9月には、兵庫県、宮城県、岩手県等の社会福祉施設・機関に対し、半構造的インタビューを中心に災害支援ソーシャルワークに関する聞き取り調査を実施した。

5. 考察

本研究により明らかにされた課題を広く社会に発信することは、研究に参加した学生や教員、大学、他のボランティア団体による直接的支援や後方支援につなげることが可能であると考えられる。また、本研究で得られた成果は、あらゆる機会を通じて発信され、今後も長期間、継続して行われる支援活動に関する政策提言も可能となる。

さらに、被災地を訪問し、ソーシャルワーカーから直接話を聴くことは、学生にとってきわめて貴重な経験になると同時に、将来、彼らが遭遇する危機的場面におけるソーシャルワーカーの倫理や価値に大きな影響を与えるものとなる。プロジェクト実施においては、スーパーバイザーとして教員が同行することにより、学生の体験や気づきをより深い学びへと展開することが可能となり、ソーシャルワーカー養成のプログラムとしても効果的な方法論であることは明確である。

[参考文献]

- 林春男（1996）「都市地震防災における社会福祉の役割」『ソーシャルワーク研究』Vol.22 No.3,208-213.
- 鈴木有希（2006）「スマトラ沖津波被災地での当事者支援プログラム」『ノーマライゼーション』9月号,26-29.
- 田中淳（2007）「災害被害者支援－最も必要とされるときに支援できない福祉とは－」『社会福祉学』第48巻第2号,118-121.